じょうほく 1月

学校だより
令和7年1月16日　第8号
那覇市立城北小学校
校長　工藤　直也

「はじまり」と「おわり」

令和8年、2026年がスタートし、2週間が過ぎました。学校では、2学期後半が開始しましたが、令和7年度末でもあります。2学期後半開始にあたり、児童には次のことをお話しました。

＜学年のまとめをしっかりしましょう＞

2学期後半は、今の学年のまとめの大切な時期となります。次の学年へ進級するために、学んだことを振り返ったり、まとめたりして、次の学年に自信をもって進んで下さいと伝えました。また、6年生は小学校生活をしめくくり、スムーズに中学進学ができるよう準備をしてほしいと伝えました。

令和8年の「はじまり」であり、令和7年度の「おわり」に向かう大切な時期となります。学校においても子どもたちにもその意識をもって学校生活等を送るよう指導して参ります。ご家庭においても声かけをお願いします。

校内席書会の様子

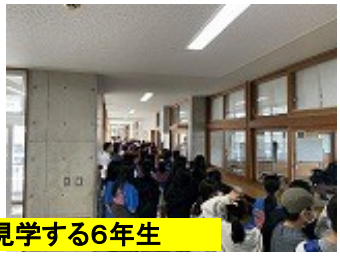
新年にふさわしい言葉をのびのびと書き、新しい年を迎えた喜びを味わうことなどをねらいとして、各学年で書き初めを行いました。1，2年生は硬筆、3年生以上は毛筆で行いました。

硬筆で書き初めに取り組む様子（教室）

毛筆で書き初めに取り組む様子（体育館）

城北中登校日（6年生）

令和7年12月16日に城北中グループ小中一貫教育の取組として城北中登校日を実施しました。当日は、城北小、大名小の6年生が城北中学校を訪ね、校内や授業の様子を見て回ったり、中学生から直接話を聞いたりしました。



城北中校内を見学する6年生

体育館で中学生の話を聞いている様子

6年生にとって、中学校の雰囲気を味わうよい機会となりました。中学生となった先輩達の様子を見て、将来の自分の姿を思い描いた児童も多かったのではないでしょうか。

参加した6年生からは、**「中学生の話がととても参考になった」「広い校舎の教室移動で遅刻しないようにしないといけない。」「中学校の不安が少し減った」「このような取組はすごく嬉しかった！」**など前向きな感想が多くありました。

地域学校協働活動の充実

地域学校協働活動とは、地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。
（文部科学省：「地域学校協働活動 文部科学省 地域と学校でつくる学びの未来」より）

＜地域学校協働活動の主な取組＞
- 登校時の見守り活動
（スクールゾーン、スクールガード）
- クラブ活動支援
- 読み聞かせ
- 学校内及び周辺の環境整備
- 学校行事支援（準備、片付け等）
- 子供たちへの学習支援（講師）
- 放課後子ども教室
- スポーツ少年団

登校時の見守り活動

保護者等の読み聞かせ活動

運動場でのラジオ体操

おはよう会による環境整備

PTAによる学校行事支援

放課後子ども教室

福祉体験サポート
＜地域包括支援センター＞

クラブ活動支援

探究活動の講師

地域学校協働活動は、あらゆる場面で展開されており、子供たちの学びや成長の支え、よりよい地域づくりへとつながっています。現在取り組んでいるコミュニティ・スクールの取組と一体的に推進し、「学校を核とした地域づくり」を目指していきます。